

# エコロジール事例集 トルコギキョウ立枯病②（栃木県）

前作では圃場の一部でトルコギキョウ立枯病が発生していたが、エコロジール処理後、全調査地点で*Fusarium oxysporum*（フザリウム・オキシスポラム）が検出限界以下に！

## 処理条件

[面積] 900㎡ [エコロジール使用量] 1000L  
[土壌の種類] 低地水田土 [希釈倍率] 不明  
[処理期間] 2023/7/15~8/16 [希釈液使用量] 不明

## 処理の流れ

### 方法：被覆後に希釈液投入

- ①畝立て、チューブ敷設
- ②事前灌水
- ③被覆
- ④エコロジールを希釈投入
- ⑤33日間被覆
- ⑥被覆除去
- ⑦定植

## 使用資材

[灌水チューブ] スミサンスイ, スミチューブ  
[被覆資材] 農ポリ（厚さ0.03mm）  
[液肥混入器] スミチャージ

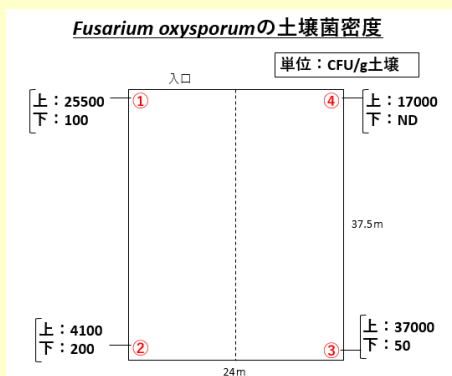
## ポイント

ここでは、畝が崩れないように、事前灌水と希釈液の灌水時間を適宜調節した。

## 結果

### エコロジール処理前

病害の発生状況  
エコロジール処理前、圃場の端等でトルコギキョウ立枯病が発生していた。



上層：10~20cm  
下層：50~60cm

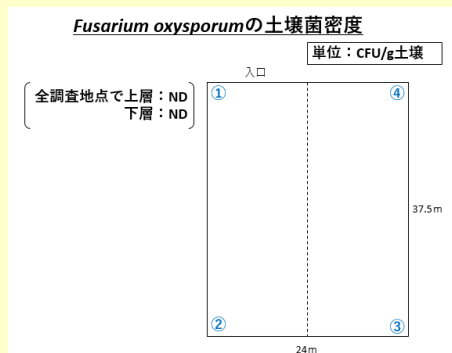
※NDは検出限界以下

処理前、**上層部では**  
***Fusarium oxysporum***  
**が高密度で検出された**

### エコロジール処理後



2番花栽培中の様子（2月2日）



上層：10~20cm  
下層：50~60cm

※NDは検出限界以下

処理後、**全調査地点で、**  
***Fusarium oxysporum***  
**が検出限界以下になった**

## 生産者のコメント

エコロジールを実施してから収量が上がった。特に、2番花の収穫量は顕著に増加した。